

事務事業名	道路施設整備事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共土木G		
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	石原 裕太		
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。			
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		電話番号	0854-40-1063 (内線) 2473		
目的対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。			予 算 科 目	
			会計	款	大 事 業	大 事 業 名	
			0	140	0	2	道路施設管理事業
			項	目	中 事 業	中 事 業 名	
			1	0	1	0	道路施設整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
道路利用者	市内を安全で迅速に移動できるようにする。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H25 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・道路維持管理計画に基づき、修繕箇所を毎年度ローリングによる評価により優先度を決定する。 ・優先度の高いものから当該年度修繕工事箇所を選定し、修繕を行う。 ・毎年度、新規修繕箇所を加味した道路維持管理計画を策定し、修繕箇所のローリングによる再評価を行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
市道矢入線舗装工事 L=463m	・一般財源のみで開始した事業であるが、舗装修繕は、交付金の対象外となったため、この事業で特定財源(辺地債、合併特例債など)を活用し修繕を行っている。また、局所的な改良についても計画的な事業実施を行っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	65.2	63.9	66.8	66.8
イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	65.7	68.4	66.5	66.5
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
市道矢入線舗装工事 11,983千円 【地方債】辺地債	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	17,800		11,900	44,500
	その他	千円				
	一般財源	千円	1,106		83	2,200
	事業費計	千円	18,906	0	11,983	46,700

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	路面性状調査の結果から要対策箇所の舗装を修繕することで、健全な状態に保つことで長寿命化が図れた。
② 事業実施するうえでの課題	・局部改良的な要望箇所については、今後も有利な財源を活用しながら、継続して計画的に整備を行っていく必要がある。 ・舗装修繕については、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)を構築し、ライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・R元年度～R5年度にかけて、2巡目の道路ストック点検(路面性状調査)をし、健全度判定を行い、要対策の舗装修繕を図る。 ・道路維持管理計画に基づき、計画的に特定財源を活用し、事業の完了を図る。 ・道路改良事業で実施できない箇所は、本事業で検討し対応していく。